

平成 25 年(1~12 月)冷凍食品の生産・消費について

一般社団法人日本冷凍食品協会

1. 国内生産

(1) 総論

当協会調べによる平成 25 年(1~12 月)のわが国の冷凍食品国内生産は、数量が 1,550,085 トン(対前年比(以下、同じ)105.0%)、金額(工場出荷額)が 6,774 億円(105.3%)であった。数量は平成 22 年から 4 年連続増加し、過去最大であった平成 18 年(数量 1,545,204 トン)を上回った。また、金額も 3 年連続増加した。

内食志向の強まりや各社の製品開発努力などもあり、家庭用が大きく伸長したことや業務用も総じて堅調に推移したことが主な要因となった。

表—1

年		工場数		企業数		数量		金額	
			対前年比		対前年比	(トン)	対前年比	(億円)	対前年比
平 16 年	2004	819	97.5%	677	97.7%	1,526,625	102.0%	6,730	99.0%
17 年	2005	816	99.6%	671	99.1%	1,539,009	100.8%	6,692	99.4%
18 年	2006	778	95.3%	641	95.5%	1,545,204	100.4%	6,656	99.5%
19 年	2007	746	95.9%	613	95.6%	1,527,564	98.9%	6,662	100.1%
20 年	2008	731	98.0%	596	97.2%	1,471,396	96.3%	6,662	100.0%
21 年	2009	647	88.5%	533	89.4%	1,396,035	94.9%	6,365	95.5%
22 年	2010	599	92.6%	488	91.6%	1,399,703	100.3%	6,284	98.7%
23 年	2011	572	95.5%	463	94.9%	1,417,907	101.3%	6,300	100.3%
24 年	2012	523	91.4%	437	94.4%	1,476,368	104.1%	6,433	102.1%
25 年	2013	513	98.1%	422	96.6%	1,550,085	105.0%	6,774	105.3%

(2) 業務用・家庭用別

業務用は、数量が 919,442 トン(102.8%)で 3 年連続増加、金額も 2 年連続増加し、3,921 億円(104.7%)となった。

一方、家庭用は、数量が 630,643 トン(108.4%)、金額が 2,853 億円(106.1%)となり、数量、金額ともに 4 年連続して増加し、いずれも過去最高となった。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ 59.3%、40.7%(前年 60.6%、39.4%)と家庭用が 4 割を上回り、金額ベースでは 57.9%、42.1%(前年 58.2%、41.8%)と、さらに家庭用の比率が高まった。

表—2 数量

年		業務用			家庭用		
		(トン)	対前年比	構成比	(トン)	対前年比	構成比
平成 16 年	2004	999,563	99.7%	65.5%	527,062	106.7%	34.5%
17 年	2005	988,879	98.9%	64.3%	550,130	104.4%	35.7%
18 年	2006	973,203	98.4%	63.0%	572,001	104.0%	37.0%
19 年	2007	983,339	101.0%	64.4%	544,225	95.1%	35.6%
20 年	2008	945,556	96.2%	64.3%	525,840	96.6%	35.7%
21 年	2009	886,898	93.8%	63.5%	509,137	96.8%	36.5%
22 年	2010	859,342	96.9%	61.4%	540,361	106.1%	38.6%
23 年	2011	864,303	100.6%	61.0%	553,604	102.5%	39.0%
24 年	2012	894,582	103.5%	60.6%	581,786	105.1%	39.4%
25 年	2013	919,442	102.8%	59.3%	630,643	108.4%	40.7%

表—3 金額

年	業務用			家庭用			
	(百万円)	対前年比	構成比	(百万円)	対前年比	構成比	
平成16年	2004	437,339	97.4%	65.0%	235,693	102.3%	35.0%
17年	2005	431,697	98.7%	64.5%	237,458	100.7%	35.5%
18年	2006	419,729	97.2%	63.1%	245,837	103.5%	36.9%
19年	2007	424,644	101.2%	63.7%	241,597	98.3%	36.3%
20年	2008	418,045	98.4%	62.7%	248,167	102.7%	37.3%
21年	2009	395,952	94.7%	62.2%	240,510	96.9%	37.8%
22年	2010	373,427	94.3%	59.4%	254,945	106.0%	40.6%
23年	2011	369,741	99.0%	58.7%	260,300	102.1%	41.3%
24年	2012	374,449	101.3%	58.2%	268,844	103.3%	41.8%
25年	2013	392,114	104.7%	57.9%	285,259	106.1%	42.1%

(3)品目別

大分類の品目別生産量では、国内生産の大半を占める調理食品(105.9%)、農産物(101.3%)、菓子類(101.6%)が増加し、水産物(97.3%)、畜産物(75.6%)が減少したため、調理食品の占める割合は86.3%に高まった。調理食品のうちフライ類以外は107.4%、フライ類は101.7%となった。

小分類の品目で前年に対して大きく増加したのは、スパゲティ(13,238トン増、131.3%)、うどん(10,984トン増、106.9%)、ギョウザ(7,341トン増、115.4%)、炒飯(6,802トン増、113.4%)などであった。

逆に減少量が大きかったのは、パン(3,880トン減、80.0%)、コロッケ(1,863トン減、98.9%)、ミートボール(1,615トン減、95.4%)などであった(但し、「その他の～」を除く)。

小分類の品目別生産量における上位20品目をみると、統計開始以来41年連続1位であったコロッケが前年2位のうどんに逆転され、1位がうどん、2位がコロッケとなった。3位から5位までの順位は前年通りであった。大きく順位を上げたのは、前回9位から6位になったスパゲティと、前回14位から11位となったたこ焼・お好み焼きであった。それ以降は、今回の品目見直し(中華まんじゅうの新設)とパンが圏外となったほかは大きな変動はなかった。

表—4

			水産物	農産物	畜産物	調理食品			菓子類	合計
						フライ類	フライ類以外	小計		
数量	(トン)	業務用	38,790	79,217	3,236	256,910	498,634	755,544	42,655	919,442
		家庭用	10,295	19,277	1,958	83,668	498,289	581,957	17,156	630,643
		合計	49,085	98,494	5,194	340,578	996,923	1,337,501	59,811	1,550,085
	構成比率	業務用	79.0%	80.4%	62.3%	75.4%	50.0%	56.5%	71.3%	59.3%
		家庭用	21.0%	19.6%	37.7%	24.6%	50.0%	43.5%	28.7%	40.7%
		合計	97.3%	101.3%	75.6%	101.7%	107.4%	105.9%	101.6%	105.0%
	前年比	業務用	113.1%	102.0%	61.4%	101.7%	103.3%	102.8%	100.9%	102.8%
		家庭用	63.8%	98.7%	122.9%	101.5%	111.8%	110.2%	103.3%	108.4%
		合計	97.3%	101.3%	75.6%	101.7%	107.4%	105.9%	101.6%	105.0%
金額	(百万円)	業務用	33,542	20,346	2,791	108,647	199,293	307,940	27,495	392,114
		家庭用	9,368	8,713	1,400	54,221	203,410	257,631	8,147	285,259
		合計	42,910	29,059	4,191	162,868	402,703	565,571	35,642	677,373
	構成比率	業務用	78.2%	70.0%	66.6%	66.7%	49.5%	54.4%	77.1%	57.9%
		家庭用	21.8%	30.0%	33.4%	33.3%	50.5%	45.6%	22.9%	42.1%
		合計	101.2%	104.5%	80.4%	103.8%	107.1%	106.1%	101.8%	105.3%
	前年比	業務用	115.6%	102.8%	69.0%	105.1%	104.2%	104.5%	102.0%	104.7%
		家庭用	70.1%	108.9%	119.6%	101.2%	110.1%	108.1%	101.2%	106.1%
		合計	101.2%	104.5%	80.4%	103.8%	107.1%	106.1%	101.8%	105.3%

2. 輸入

(1) 冷凍野菜

財務省貿易統計による 25 年(1～12 月)のわが国の冷凍野菜輸入量は、924,251 トン(97.1%)と 4 年ぶりの減少となったが、輸入額は、1,572 億円(118.1%)と 4 年連続増加した。数量と金額の乖離は、外国為替の大幅な変動によるものとみられる。

輸入が増加した主な品目としては、ほうれん草(2,467 トン増、107.6%)、さといも(1,503 トン増、103.8%)などであった。減少した主な品目は、ポテト(38,300 トン減、90.1%)、ブロッコリー(1,618 トン減、95.5%)、コーン(1,323 トン減、97.3%)などであった。

主な輸入先である中国(19,054 トン増、105.0%)、カナダ(9,090 トン増、131.3%)は増加したものの、アメリカ(52,782 トン減、85.6%)、タイ(3,793 トン減、92.2%)、台湾(2,518 トン減、92.3%)は減少した。

表—5

年	数量		金額	
	トン	対前年比	百万円	対前年比
平16	761,348	112.0%	99,609	106.6%
17	786,507	103.3%	107,269	107.7%
18	831,880	105.8%	122,923	114.6%
19	821,128	98.7%	125,981	102.5%
20	770,563	93.8%	111,140	88.2%
21	760,997	98.8%	104,698	94.2%
22	829,406	109.0%	111,693	106.7%
23	899,356	108.4%	120,178	107.6%
24	952,041	105.9%	133,104	110.8%
25	924,251	97.1%	157,201	118.1%

(2)調理冷凍食品

25年の調理冷凍食品輸入量は、282,651トン(103.3%)、金額は1,425億円(116.1%)となり、数量、金額ともに4年連続して増加した。

輸入量を業務用と家庭用に分けてみると、業務用は248,774トン(104.1%)で増加、家庭用は33,877トン(97.7%)と減少した。

国別では、タイ(6,730トン増、107.1%)、中国(1,857トン増、101.1%)などが増加し、タイが全体の輸入量を押し上げた。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている31社を対象にしたものであり、わが国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表—6

年	数量		金額	
	トン	対前年比	百万円	対前年比
平16	259,433	116.4%	114,034	123.4%
17	291,098	112.2%	131,804	115.6%
18	315,436	108.4%	140,042	106.3%
19	319,796	101.4%	145,935	104.2%
20	232,224	72.6%	111,156	76.2%
21	201,826	86.9%	91,587	82.4%
22	227,618	112.8%	92,735	101.3%
23	246,330	112.8%	109,048	117.6%
24	273,635	111.1%	122,797	112.6%
25	282,651	103.3%	142,542	116.1%

表—7 国別の輸入量推移

年	中国		タイ		その他		合計	
	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比
平16	162,401	112.4%	70,912	114.2%	26,120	160.3%	259,433	116.4%
17	187,455	115.4%	79,329	111.9%	24,314	93.1%	291,098	112.2%
18	200,634	107.0%	88,041	111.0%	26,761	110.1%	315,436	108.4%
19	212,590	106.0%	84,055	95.5%	23,151	86.5%	319,796	101.4%
20	128,373	60.4%	87,912	104.6%	15,939	68.8%	232,224	72.6%
21	110,515	86.1%	75,235	85.6%	16,076	100.9%	201,826	86.9%
22	137,029	124.0%	75,981	101.0%	14,608	90.9%	227,618	112.8%
23	145,836	106.4%	77,372	101.8%	23,122	158.3%	246,330	108.2%
24	164,087	112.5%	94,288	121.9%	15,260	66.0%	273,635	111.1%
25	165,944	101.1%	101,018	107.1%	15,689	102.8%	282,651	103.3%

3. 国内消費

当協会では、「冷凍食品国内生産量」、「冷凍野菜輸入量」及び「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

25年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量 1,550,085 トンに、冷凍野菜輸入量 924,251 トンと、調理冷凍食品輸入量 282,651 トンを加えた 2,756,987 トン(102.0%)であった。これを総人口(127,298 千人)で割った国民1人当りの年間消費量は、21.7 キログラム(0.5 キログラム増、102.2%)となった。

冷凍食品の総消費量及び1人当たりの消費量は、4年連続増加し、いずれも過去最高となった。

なお、上記のように調理冷凍食品輸入量については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると、実際の「消費量」は 276 万トンを上回るものと考えられる。

表—8 数量

		国内生産量 (トン)	冷凍野菜 輸入量 (トン)	調理冷凍 食品輸入量 (トン)	合計(消費量)		国民1人 当り消費量 (kg)
					(トン)	対前年比 (%)	
平16年	2004	1,526,625	761,348	259,433	2,547,406	106.2	20.0
17年	2005	1,539,009	786,507	291,098	2,616,614	102.7	20.5
18年	2006	1,545,204	831,880	315,436	2,692,520	102.9	21.1
19年	2007	1,527,564	821,128	319,796	2,668,488	99.1	20.9
20年	2008	1,471,396	770,563	232,224	2,474,183	92.7	19.4
21年	2009	1,396,035	760,997	201,826	2,358,858	95.3	18.5
22年	2010	1,399,703	829,406	227,618	2,456,727	104.1	19.2
23年	2011	1,417,907	899,356	246,330	2,563,593	104.3	20.1
24年	2012	1,476,368	952,041	273,635	2,702,044	105.4	21.2
25年	2013	1,550,085	924,251	282,651	2,756,987	102.0	21.7

表—9 金額

		国内生産額 (百万円)	冷凍野菜 輸入額 (百万円)	調理冷凍食 品輸入額 (百万円)	合計	
					(百万円)	対前年比 (%)
平16年	2004	673,032	99,609	114,030	886,671	102.5
17年	2005	669,155	107,269	131,800	908,224	102.4
18年	2006	665,566	122,923	140,040	928,529	102.2
19年	2007	666,241	125,981	145,940	938,162	101.0
20年	2008	666,212	111,140	111,160	888,512	94.7
21年	2009	636,462	104,698	91,587	832,747	93.7
22年	2010	628,372	111,693	92,736	832,801	100.0
23年	2011	630,041	120,178	109,048	859,267	103.2
24年	2012	643,293	133,104	122,799	899,194	104.6
25年	2013	677,373	157,210	142,542	977,125	108.7

《参考》自然解凍調理冷凍食品の生産・輸入

当協会会員の6社に限定して、24年から自然解凍調理冷凍食品の生産及び輸入の動向を調査している。

25年の自然解凍調理冷凍食品の生産及び輸入量は47,199トン(169.9%)、金額は551億円(162.5%)となり、数量、金額ともに大幅に増加した。

業務用と家庭用で分けると、業務用は、6,834トン(136.1%)、家庭用は40,365トン(177.4%)、家庭用の方が大幅に増加したが、各社とも家庭用の自然解凍商品の開発・販売に力点が置かれたためである。

表—10 平成25年の数量・金額

品 目	数 量 (トン)			金 額 (百 万 円)			
	業務用	家庭用	合 計	業務用	家庭用	合 計	
フ ラ イ 類	1,023	23,405	24,428	813	26,536	27,349	
対 前 年 比	280.3%	272.2%	272.5%	250.9%	250.4%	250.4%	
フ ラ イ 類 以 外	和惣菜	10,090	-	-	14,327	-	
	中華惣菜	-	1,686	-	2,097	-	
	洋惣菜	-	4,294	-	5,913	-	
	その他	-	890	-	1,475	-	
	合計	5,811	16,960	22,771	3,945	23,812	27,757
	対前年比	124.8%	119.8%	121.0%	114.6%	121.9%	120.8%
合 計	6,834	40,365	47,199	4,757	50,346	55,103	
対 前 年 比	136.1%	177.4%	169.9%	126.3%	167.1%	162.5%	

《注意事項》

平成 24 年の国内生産量及び生産額、平成 24 年の調理冷凍食品の輸入量、平成 23 年、平成 24 年の自然解凍調理冷凍食品の数量、金額について、昨年の速報値を修正し、確定値にしています。

《別添資料》

1. 冷凍食品の国内生産及び消費
2. 品目別国内生産
3. 品目別国内生産及び構成比率と 1 キログラム当り金額
4. 国内生産量上位 20 品目(平成 21～25 年推移)
5. 冷凍野菜品目別生産国別輸入
6. 調理冷凍食品輸入
7. 調理冷凍食品輸入(平成 16～25 年推移)
8. 調理冷凍食品輸入 品目別取扱社数・国別主要品目
9. 自然解凍調理冷凍食品の生産・輸入

《問い合わせ先》

一般社団法人 日本冷凍食品協会

〒104-0045 東京都中央区築地 3 丁目 17 番 9 号 興和日東ビル 4 階

担当：総務企画部企画調査課 梶田

TEL:03-3541-3003

FAX:03-3541-3012

E-mail:kajita@reishokukyo.or.jp